



# Flash News

三重大学

第75号

## 目次

- 三重大学開学60周年記念式典
- コンビニエンスストア「ミニストップ三重大学店」がオープン
- 第16回3大学国際ジョイントセミナー＆シンポジウム2009
- 全学FD「PBL(問題発見解決学習)を導入した授業デザイン」
- 伊賀先端テクノロジー研究会
- 平成21年度三重地区生涯生活設計セミナー
- 自転車盗難防止キャンペーン
- 講演会「活かし育てよう、女性研究者」
- キャリア・ピアサポーター資格認定証授与式
- イノベーションコーディネータ賞を受賞

## 三重大学開学60周年記念式典



10月9日、講堂において、開学60周年記念式典を開催しました。内田淳正学長による挨拶、江畑賢治三重県副知事、松田直久津市長、チェンマイ大学長、バレンシア州立工芸大学アジア・アメリカ担当部長ら、ご来賓の方々からの祝辞に続き、新たに制作された学章、徽章およびアカデミックガウンの紹介がありました。引き続き、国立大学法人政策研究大学院大学の黒川 清教授による「グローバル時代の大学の使命」と題した特別記念講演が行われました。また、附属中学校音楽部や学生による祝賀演奏会が行

われ、その後の祝賀懇談会では、教職員や学生をはじめ、学内外から大勢の方々が登場し、開学60周年を祝いました。本学では、開学60周年を機に、外国人留学生寄宿舍、練習船勢水丸、新保育園(来春完成予定)の建設、地域イノベーション学研究科の新設のほか、内閣府事業の「地域活性化システム論講座」や国立大学協会および三重県との共催による「大学改革セミナー」の開催など、知の拠点としての新たな取り組みを開始しています。

## コンビニエンスストア「ミニストップ三重大学店」がオープン

10月1日、本学構内に「ミニストップ三重大学店」が開店し、関係者および多数の学生、教職員が参加して、オープニング式典が開催されました。このコンビニは、昼食時の混雑緩和と夜間の学生や教職員の利便性向上を目的として設置されました。また、全国ではじめてレジ袋を置かないコンビニとして注目され、太陽光発電やLED照明設備など環境にも配慮されています。式典では、内田淳正学長から「環境先進大学を目指している三重大学に相応しい取り組みを実践してほしい」との挨拶があり、テープカットが行われました。開店と同時に多くの学生が店内に溢れ、昼休みには37席のイトインコーナーも満席となり、活気に満ちた初日となりました。



## 第16回3大学国際ジョイントセミナー＆シンポジウム2009



10月19日～22日、講堂において、標記セミナー＆シンポジウムを開催しました。タイ・チェンマイ大学、中国・江蘇大学を始め学術協定を結ぶ6カ国17大学などから学生、教職員合わせて100名以上が参加しました。人口、食糧、エネルギー、環境およびコミュニケーションをテーマに、モンゴル・エコアジア大学長による特別講演、教員による基調講演、学生による論文発表やポスターセッションが行われ、優秀者には賞が授与されました。また、シャープ亀山工場の見学、閑宿散策など、盛りだくさんのプログラムで交流を深め、盛況のうちに幕を閉じました。

## 全学FD「PBL(問題発見解決学習)を導入した授業デザイン」

9月24日、メディアホールにおいて、標記全学FDが行われました。今回は、多様なPBLに取り組んでいる杉浦絹子医学部准教授、赤木和重教育学部准教授、北英彦工学研究科准教授による実践の報告が行われました。65名の参加者は、この実践報告と全体討論を通して、PBLの多様性やその運営方法について理解を深めました。引き続き、新任教員を主な対象として、授業デザインの基本的な方法、学習・教育支援環境(附属図書館、学生なんでも相談室、Moodle)に関する説明会を行いました。



## 伊賀先端テクノロジー研究会

9月25日、三重大学伊賀研究拠点において、標記研究会を開催しました。タカラバイオ(株)前社長の加藤郁之進氏より「北京オリンピックの100m、200m競技で優勝したボルト選手が常食するジャマイカンヤムイモの機能性」と題した基調講演が行われ、続いて、珠玖 洋名誉教授より「がん免疫療法の実用化を目指して一産学連携による三重から世界への発信」と題した基調講演が行われました。大学関係者や地元企業からの参加者は、両氏の貴重な講演に感心して聴き入っていました。

## 平成21年度三重地区生涯生活設計セミナー

9月28日、講堂(小ホール)において、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校との共催による標記セミナーを開催しました。(財)教職員生涯福祉財団のセミナー推進員から「生涯生活設計づくりに向けて、退職後の健康プラン、退職後の生きがいのプラン」、「共済年金・退職後の医療保険」「経済生活プランの作成」の講演が行われ、参加した定年退職予定者64名は熱心に聴講しました。また、講演終了後の個別相談コーナーには多数の相談が寄せられるなど、参加者の関心の高さがうかがわれ、セミナーは盛況のうちに終了しました。

## 自転車盗難防止キャンペーン

10月5日、生物資源学部前駐輪場で、津警察署主催の標記キャンペーンを開催しました。当日は、津警察署員が学生にワイヤー錠を配布し、鍵と併用するツーロックを行うよう指導しました。また、署員と学生が協力してのぼり旗「自転車の盗難に注意!!」を設置しました。参加した学生は「鍵を二重にかけると盗まれにくいことがわかった。これからもツーロックを心がけたい。」と話していました。



## 講演会「活かし育てよう、女性研究者」



10月6日、講堂(小ホール)において、科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」の活動の一環として、標記講演会を開催しました。第1部では、有賀早苗北海道大学副理事・女性研究者支援室長より北海道大学の女性研究者を活かし育てるための多様な取り組みについて講演が行われ、約100名の参加者は、その先進的な活動に聴き入っていました。第2部では、「学長と女性研究者との本音トーク」と題して女子大学院生や女性教員と学長が直接意見交換を行う初めての機会を持ちました。

## キャリア・ピアサポーター資格認定証授与式

10月15日、標記授与式が行われました。これは、新たに設けられた学内資格で、学生総合支援センターが中心となって推進してきた学生相談やキャリア支援のピアサポート制度を教育プログラムと連携させることにより、総合的なピアサポート体制の構築および教育の推進を目指すものです。その第1号として、内田淳正学長から鈴木里奈さん(人文学部2年)と伊藤嘉純さん(工学部2年)に認定証が授与されました。今後、学生2名は、キャリア・ピアサポーターとして学内外のさまざまなイベントや事業などに関わっていきます。



## イノベーションコーディネータ賞を受賞

10月7日、西村訓弘社会連携研究担当学長補佐が科学技術振興機構(JST)が実施する「イノベーションコーディネータ表彰」のイノベーションコーディネータ賞・JST理事長賞を受賞しました。この賞は、JSTが今年度に創設したもので、地域イノベーション学研究科の設立に寄与するなど、産学官連携による地域活性化の実践により成果を上げたことが評価されました。同学長補佐によると、「本学の社会連携活動が全国レベルで認められたものであり、本学の社会連携担当者全員に与えられた賞として受けとめている」とのことでした。



## 投稿のお願い

各種事項(大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等)に関するフレッシュなニュース提供をお待ちしています。登 勉(nobori@chin.medic.mie-u.ac.jp)または井上真理子(mariko-i@ab.mie-u.ac.jp)まで。場合によっては、取材に向きます。《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページで(<http://www.mie-u.ac.jp>)ご覧いただけます。》編集責任者/理事・副学長 後藤正和

